

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<エントリーシート> ※事務局記入欄 No. : C-33	部門 3. 校内研修部門	学校名・氏名 大阪市立三軒家東小学校
	活動名 若手教員研修 F.T.M 対話性の保証を生かした授業検討会	

課題の設定： ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。

本校は、管理職・育休中・病気休暇中の教員を省くと、半数以上が、正規採用 5 年目以下の教員である。若手教員の授業力向上は喫緊の課題である。また、子どもたちが「主体的・対話的・深い学び」をするために、教員自身が「めあて」にそった子どもの意見の出し方・深め方・まとめ方、教科の内容を学ぶことが求められる。教務主任がファシリテーターとして、教員同士が「学び合う」という研修スタイルの『F.T.M(フレッシュ・ティーチャーズ・ミーティング)』を行う。勤務時間中の校内研修の一つとして位置づけ、若手教員の参加は必須である。

方針・計画： ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

- ・本校では子どもの学力・体力の向上と教員の参画意識を高めるために、平成 28 年度より毎月定期的に「学力・体力向上委員会」を位置付けている。「学力向上委員会」の「授業力アップ推進部会（教務主任・中堅教員メンバーで構成）」において、『F.T.M』の課題について検討する。
- ・一昨年は講義形式の研修が多く、昨年度は模擬授業を中心に行った。今年度は、普段の授業を録画し、録画したものを材料に、ファシリテーターを活用し、対話を生かした授業検討会として『F.T.M』を行う。

活動内容： ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

- ・指導案を作成していない若手教員の普段の授業を録画したものを検討材料とする。
- ・教務主任がファシリテートしながら、若手教員が録画した授業の検討会『F.T.M』を実施した。子どもの意見を拾っていない場面・深められていない場面では、録画を一時停止し、参加者で検討していった。「授業力アップ推進部会」は、F.T.M に参加し、アドバイスをした。
- ・文部科学省（国立教育研究所）総括研究官の千々布俊弥さんにも若手教員の授業観察・指導を終日していただいた。（写真 2）（写真 3）後日、教頭が千々布先生に触発され、若手の頃の授業記録を用いて「主体的・対話的・深い学び」の学習スタイルについて『F.T.M』で発表した。（写真 4）（写真 5）

活動の成果： ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

『F.T.M』の若手教員メンバーからは、「人の授業を見る機会が少ないので新鮮で、自分ならこうするという考えができる。」「他の先生方の考えや意見が聞けるので勉強になる。」「他学年の学習（つながり）がわかる。」という感想があった。アドバイザーからは、「自分自身の授業を振り返ることができる。」「課題のあるところを V T R でとめて、色々な角度から助言を受け、授業者でなくても、わかりやすいと思う。」という感想があった。教頭が発表した『F.T.M』について、若手教員から「（子どもの）自尊心が高まりそうな実践がたくさんでした。」「正解がないから教員の教材研究やいろいろな発想を出すための工夫が大切だと思った。」という感想があった。

アピールポイント（アイデアや工夫）： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください

- ・研修実施後は、毎日の閲覧数が平均 100 を超える「学校ホームページ」のカテゴリ『授業研究会・教員研修会』に即日アップし、児童・保護者だけでなく一般市民にも周知している。（写真 6）
- ・子どもの「学び合い」をめざして教員同士で「学び合い」を行うことで、教員自身も「学び合い」の良さを実感でき、良いサイクルとなった。教員が、子どもの意見をファシリテートする技量を学んだ。
- ・『F.T.M』に中堅教員も参加し、校内研修として位置づけているので、ミドルリーダーの育成にもつながった
- ・『F.T.M』では、若手教員が普段悩んでいる指導法についても、ざっくばらんに対話できる雰囲気があった。

<写真、図表添付欄>

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5

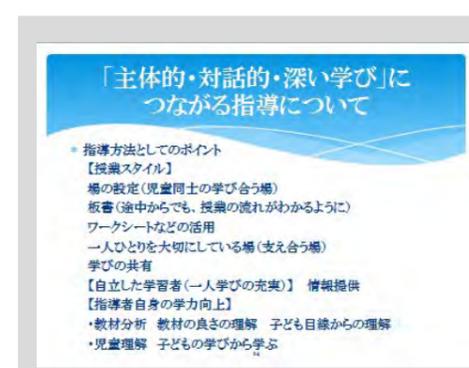


写真 6

